

# リーダーシップスタイル ～臨床と行政の違い～

群馬県健康福祉部  
健康長寿社会づくり推進課

課長 武智浩之

- \* 当発表に関連し、発表者に開示すべきCOI関係にある企業はもちろんありません。
- \* 当発表は私見です。



# 臨床医

専門性を深めていく。

それは得意分野をその都度選択しながら、狭めていくことと同義なのかもしれない。  
学位を取得する(海外誌に論文を掲載する)ということは、まさにそういうこと。

ひとはさまざまな、そして多くの経験を積んだ医師のことを、  
“スペシャリスト”, “ゴッドハンド”, “名医”と呼ぶこともあるかもしれない。



## 感染症法に基づく主な措置の概要（政令による準用の有無）

	指定感染症	一類感染症	二類感染症	三類感染症	四類感染症	五類感染症	新型インフルエンザ等感染症
規定されている疾病名	新型コロナウイルス感染症	エボラ出血熱・ペスト・ラッサ熱 等	結核・SARS 鳥インフルエンザ (H5N1) 等	コレラ・細菌性赤痢・腸チフス 等	黄熱・鳥インフルエンザ (H5N1 以外) 等	インフルエンザ・性器クラミジア感染症・梅毒等	新型インフルエンザ・再興型インフルエンザ
疾病名の規定方法	政令 具体的に適用する特定の感染症毎に政令で規定	法律	法律	法律	法律・政令	法律・省令	法律
疑似症患者への適用	○	○	○ (政令で定める感染症のみ)	—	—	—	○
無症状病原体保有者への適用	○	○	—	—	—	—	○
診断・死亡したときの医師による届出	○ (直ちに)	○ (直ちに)	○ (直ちに)	○ (直ちに)	○ (直ちに)	○ (7日以内)	○ (直ちに)
獣医師の届出、動物の輸入に関する措置	—	○	○	○	○	—	○
患者情報等の定点把握	—	—	△ (一部の疑似症のみ)	△ (一部の疑似症のみ)	△ (一部の疑似症のみ)	○	—
積極的疫学調査の実施	○	○	○	○	○	○	○
健康診断受診の勧告・実施	○	○	○	○	—	—	○
就業制限	○	○	○	○	—	—	○
入院の勧告・措置	○	○	○	—	—	—	○
検体の収去・採取等	○	○	○	—	—	—	○
汚染された場所の消毒、物件の廃棄等	○	○	○	○	○	—	○
ねずみ、昆虫等の駆除	○	○	○	○	○	—	○(※)
生活用水の使用制限	○	○	○	○	—	—	○(※)
建物の立入制限・封鎖、交通の制限	○	○	—	—	—	—	○(※)
発生・実施する措置等の公表	○	—	—	—	—	—	○
健康状態の報告、外出自粛等の要請	○	—	—	—	—	—	○
都道府県による経過報告	○	—	—	—	—	—	○

黄：指定時に適用（2/1施行）

橙：改正①時に適用（2/14施行）

桃：改正②時に適用（3/27施行）

※ 感染症法44条の4に基づき政令が定められ、適用することとされた場合に適用



<新型コロナ危機管理チーム会議。オンライン出席は2名>



群馬県による時短要請 伊勢崎・大泉を除き23日から解除 独自の警戒度も見直し

2/19(金) 18:49 配信 16



新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、群馬県が、前橋市や高崎市など9つの市や町の飲食店に要請している営業時間の短縮について、伊勢崎市と大泉町を除いて解除すると発表しました。

知事に直接意見を伝えられる機会が、月に1回くらいある時期もありました。地域の声(病院、医師会、市町村、教育現場)を必ずお伝えしています。

# 保健所業務を紹介するパンフレット


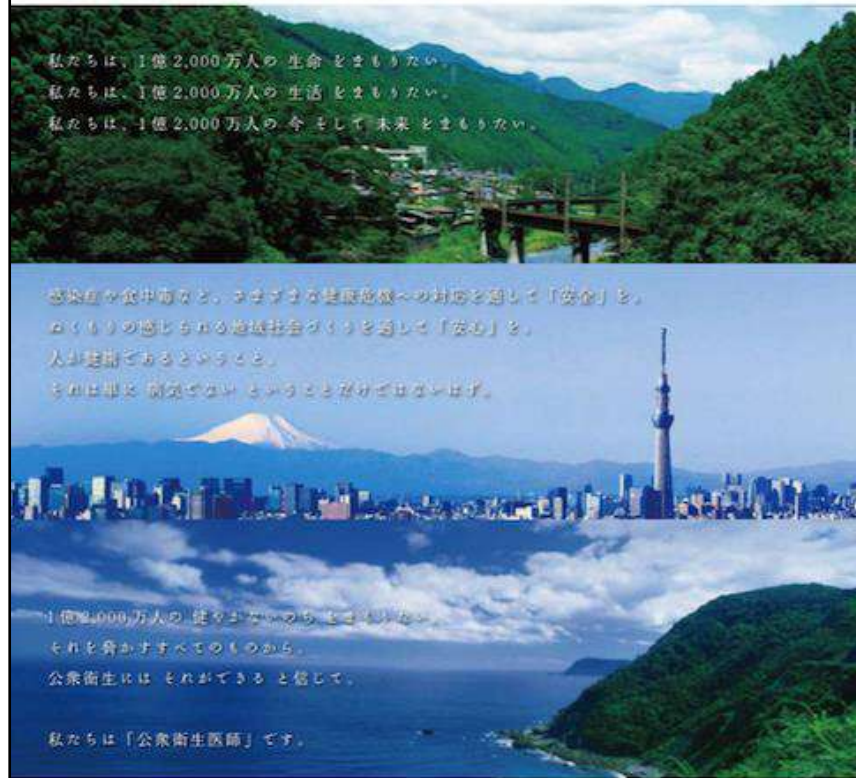
保健所の業務紹介

## 1億2,000万人の 生を衛る医師。

私たちは、1億2,000万人の生命をまもりたい。  
私たちは、1億2,000万人の生活をまもりたい。  
私たちは、1億2,000万人の今そして未来をまもりたい。

感染症や食中毒など、さまざまな健康危機への対応を通して「安全」を、  
おくもりの感じられる地域社会づくりを通して「安心」を、  
人が健診であるということ、  
それは単に「病気でない」ということだけではありません。

1億2,000万人の健やかでいっしょに暮らせる  
それを脅かすすべてのものから、  
公衆衛生には、それができると信じて、  
私たちは「公衆衛生医師」です。



- 公衆衛生医師の確保にあたってよく受ける質問のひとつが「公衆衛生医師がどのような業務を行っているのか」です。そこで、具体的にわかりやすく説明するためのパンフレットがこちらです。

## 【紹介業務項目】

1. 感染症対策
2. 結核対策
3. 母子保健対策
4. 精神保健対策
5. 難病対策
6. 健康づくり対策
7. 地域包括ケアシステムの構築
8. 地域医療対策
9. 食中毒防止対策
10. 生活環境衛生対策
11. 健康危機管理(災害対策)
12. 国際保健(グローバルヘルス)



## “行政の現場で活躍する 公衆衛生医師達”

全国保健所長会 会長 内田 勝彦

保健所に医師が勤務していることを知り驚かれることがあります。そんな時、私は感染症・食中毒の診断や治療は医療機関の医師が行いますが、それが広がらないように対策を行う保健所にも医師がいますと説明しています。ただ我々公衆衛生医師の存在意義はそれにとどまりません。保健所長や行政医師として多くの医師が勤務していますが、公衆衛生行政や保健所の業務は多岐にわたり、地域や社会の状況に応じて変化を求められることも多く、医師の役割を具体的にイメージすることは難しいかも知れません。

そこで、今回、公衆衛生行政の現場で実際どのような業務が行われているかについてわかりやすくご紹介するために、このパンフレットを作成しました。感染症対策や精神保健対策、健康危機管理対策など、保健所で働いている現役医師が、それぞれの項目について紹介しています。皆、公衆衛生行政に魅力を感じ、誇りと責任感を持って働いている医師達です。

保健所が、地域における公衆衛生の拠点として十分に役割を果たしていくためには、公衆衛生医師の存在が不可欠ですが、全国的にまだまだ不足しています。本冊子を手に取られた多くの方がこの分野に興味を持っていただけたら幸いです。



## “公衆衛生の魅力を感じてほしい”

国立保健医療科学院 次長 曾根 智史

私の勤務する国立保健医療科学院は、地方自治体の保健医療福祉行政に携わる職員の研修が大きな役割の一つです。とりわけ3か月間の保健所長の新任研修では、初めてこの分野で働く医師に、現場で必要とされる知識・技術・態度を学んでいただくとともに、仲間や講師とのネットワークづくりを支援しています。

公衆衛生は、時に原因に関する十分な情報がない状況でも対応を迫られる難しさと、解決に際して法律や制度、人材などの環境を整えるという手法を駆使するおもしろさを持った分野です。さらに行政には組織として動くダイナミズムが加わります。やればやるほど様々な可能性が広がる奥深さがあります。

私自身は研究職の公衆衛生医師として30年以上働いてきましたが、常に保健所をはじめとする第一線の公衆衛生医師の皆さんとともに考え、学び合うことに喜びを感じてきました。皆さんもより良い地域、社会づくりを目指してともに力を合わせていきましょう。

ちなみに、私はこれまでこの道を選んだことを一度も後悔したことはありません。

業務紹介

06

健康づくり対策

## 健康づくり対策

# 地域、医療機関、保健所が 連携した健康づくり

### ひとり1人が生きがいを持っていきいきと地域社会で活躍できる社会

公衆衛生医師にとって、健康づくりは重要な分野です。高齢化が進んでいる日本では、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」、いわゆる「健康寿命」の延伸を図り、ひとり1人が生きがいを持っていきいきと地域社会で活躍できる社会を目指した取り組みが求められています。かつては、脳血管疾患と結核が死因の上位を占めていた時期もありますが、現在では悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患といった生活習慣病が主な死因となっています。これらは、生活習慣の改善により、その発症や重症化を回避することができることから、早い時期からの取り組みが必要です。



生活習慣の改善と健康づくりを推進

### 発病予防、早期発見・早期治療、重症化予防

病気の早期発見・早期治療(二次予防)にとどまらず、発病予防(一次予防)の重要性や、糖尿病や慢性腎臓病などの生活習慣病の重症化予防が、健康寿命の観点から重要なことは言うまでもありません。実際に、臨床医師が公衆衛生医師へ興味をもつきっかけにもなっているようです。加えて、健康づくりを社会全体で支援していくための環境整備も必要です。健やかな生活習慣を幼少時から身につけ、生活習慣病予防の基盤を固め、生涯にわたって健康な生活習慣を継続できるようにすることも重要です。そのために、妊娠前からの関わり、学校における健康づくり教育、若い世代の食生活の改善などの取り組みも進めています。

### 健康づくり事業における公衆衛生医師の役割

保健所の中でも、特に政令市型保健所では、より地域に密着して、地域全体の健康づくりを推進しています。地域の状況に応じた健康づくりを推進するためには、地域診断の方法と結果を施策に反映できる仕組みが必要です。健康づくり事業で扱うデータを比較検討しながら、その地域の健康課題を明らかにしていく過程は、臨床での経験を十分に生かせると感じています。加えて、住民の皆さんとの意見交換や、医療機関を含む社会資源の有無や歴史的背景等を含めて、最適な対応策を検討していきます。医師としての専門性を生かして医療機関等、地域、そして市民との橋渡し役を担う。公衆衛生医師の醍醐味の一つです。



福岡市東保健所

山本 信太郎

SHINTARO YAMAMOTO

1994年 3月 任 福岡医科大学医学部、卒業  
臨床研修を経て、福岡医科大学医学部、  
福岡市八幡区立大学医学部、  
福岡大学医学部、福岡大学医学部に勤務  
福岡市に転居  
2011年10月 任 福岡市東保健所センター(東保健所)健康課長  
◎医学博士・社会医学専門医・保健医・日本疫学会公衆衛生学専攻  
・研究学博士

## 母子保健対策

### 「子育て世代包括支援センター」で 妊娠・出産・子育ての 切れ目ない支援へ

#### 地域に根付いた保健指導と対人支援

高松市保健所内にある高松市健康づくり推進課では、対人援助サービスの拠点として母子・成人・栄養・精神・難病保健事業の相談・支援も行っています。地域に6つの保健ステーション・4つの子育て世代包括支援センターにて、保健師や栄養士等スタッフによる地域に根付いた保健指導・訪問や健診などの対人支援を行っています。

高松市の母子保健事業では、妊娠前から子育て期にわたる様々なニーズに対応するため、総合相談支援を提供するワンストップ拠点として、保健センター内及び各総合センター内に「子育て世代包括支援センター」を設置し、保健師ら専門職による母子保健コーディネーターを配置し、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援に取り組んでいます。

#### 妊娠前から子育て期にわたる支援

##### 妊娠前の支援

母の妊娠届出時に母子保健コーディネーターによる丁寧な面接を行い(妊娠のリスクの点数化と安全な出産を迎えるための「個別支援プラン」を作成)、早い段階から相談・支援を提供するとともに、「子育て世代包括支援ネットワーク会議」を各拠点毎に開催することで医療機関や保育施設等の関係機関との連携体制を強化しています。

##### 出産後の支援

産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図るため、産後2週間、産後1か月など出産後間もない時期の産婦に対する産後健診や産後ケア事業を通じて、産後の初期段階における母子に対する支援を強化しています。

そのほか、高松市医師会小児科医とも連携しての1歳半・3歳児健診やこどもの発達相談、定期ワクチン接種(高松市は乳幼児の定期予防接種率は高い)などを通じて住民に身近な子育て支援サービスを提供しています。皆さんもぜひ一緒に働きましょう。



高松市健康福祉局  
(保健所担当)  
**藤川 愛**  
AKI FUJIKAWA

- 2001年 徳川医科大学医学部助産学科 卒業
- 2004年 高松市に転入(高松市保健所担当)
- 2010年 高松市職員考査第1号合格
- 現在 高松市健康福祉局(保健所担当) 保健師
- 1児の母(育児休暇取得済)

○医学博士、社会実学専攻門下・指導員、日本医師会公認保健師

## 難病対策

### 難病保健・療養支援から 共生社会に向けて

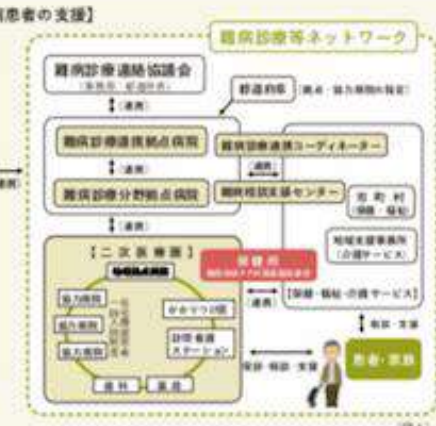
#### 難病の社会的支援や対策のしくみ

難病を持った方々の支援や対策が、どのような形で行われているかご存知でしょうか？

難病対策は、2014年「難病の患者に対する医療等に関する法律」(難病法)により、医療費の助成、療養生活環境の整備、難病の発症の機構、診断・治療に関する調査・研究などが社会保障制度として行われています。

2020年現在、333疾患が診断基準と重症度分類にて医療費が助成される「指定難病」となっています。医療費助成は、長期の医療的管理や高額な医療等が必要となる患者・家族にとって、重要な役割を果たしています。

保健所は、毎年の認定・更新など地域で生活する患者・家族の日常生活上の悩みや不安などの相談に寄り添い、保健・福祉・介護サービスなどを活用しながら療養生活の支援を行っています。(図1)



また、都道府県の難病相談支援センターと連携し「難病特別対策推進事業」等を活用して専門的な医療を提供できる入院の確保や病状に応じた「自分らしい」生活を送るための総合調整をしています。

#### 多職種のネットワークで、難病患者の自己決定や社会参加を進める

保健所は、地域のネットワークを活用して、保健・医療・福祉の総合的な相談や情報提供を行い、医療や支援を受けやすい環境を整えることにより、難病患者等の自己決定と社会参加を進める共生社会の実現を目指しています。

保健所や公衆衛生医師の役割は、大きく、複雑化してきています。

多職種による協働や医療や環境への働きかけにより新しい地域社会づくりに力を尽くしてみませんか！



地域ケア協議会の様子 (リフティングの練習) 在宅訪問の様子



愛媛県今治保健所  
**廣瀬 浩美**  
HIROKI HIROSE

- 1985年 徳川大学医学部助産学科 卒業
- 1994年 徳川大学医学部助産学専攻科 修士
- 1997年 保健所に入局、愛媛県今治保健所、今治保健所、高松保健所、高松市保健所、高松市健康福祉局に勤務
- 職歴 愛媛県今治保健所

○社会福祉士専門職(保健師)、日本公衆衛生学会認定専門職、日本医師会認定保健師

# 行政医

保健所業務は多岐にわたる。  
業務のトレンドはドラマティックに変わる。  
短期間でマインドチェンジすることが大切。  
若手に絶好の機会が訪れることもある。

異動が2～3年であり、地域性の変化に馴染む必要がある。  
県庁内での異動では専門性(担当する)が大きく変わる。  
異動した初日からその部署の担当として業務に当たらなければならない。



# リーダーとは



麻生 公郎

勉強ができる人

1. 試験問題には答えが必ずある
2. わかりやすい問題から手をつける
3. 自分で問題を作ることはない

世の中に出ると、

1. 答えがあるかないかわからない
2. 難しい問題から手をつける
3. 自分で問題(課題)を設定する

つまり、全く逆となる。

リーダーにはマイナスを補うに余りある魅力が必要。  
完璧な人はいないのだから。

決めることと責任を持つこと



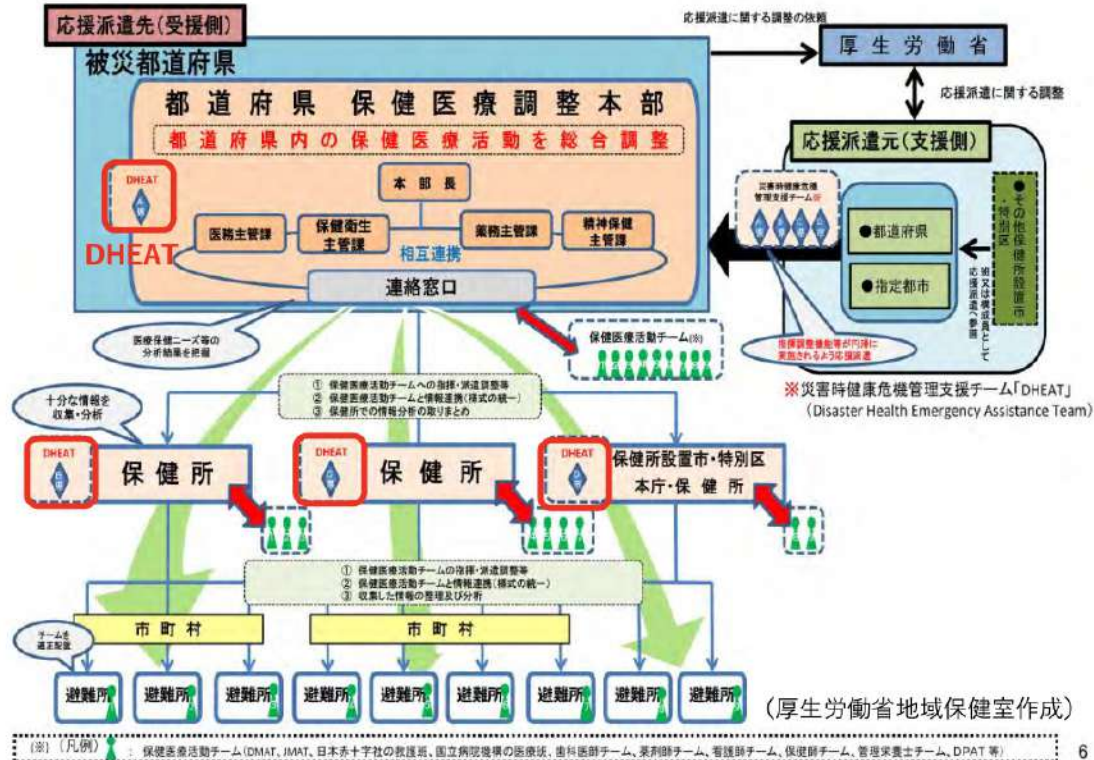
代表取締役会長

豊田 章男

# 災害時健康危機管理支援チーム DHEAT(Disaster Health Emergency Assistance Team) 概要

## 1. DHEATとは

災害が発生した際に、被災都道府県の保健医療調整本部及び被災保健所が行う、保健医療活動の指揮調整機能等を応援する専門チーム。急性期～亜急性期にかけて活動する。



## 2. DHEATの編成

DHEATは都道府県及び指定都市の職員により編成され、医師、保健師、薬剤師、獣医師、事務職など1班あたり5名程度で構成。

## 3. DHEATの応援派遣調整 (図)

被災都道府県は厚生労働省にDHEATの応援派遣調整を依頼する。調整依頼を受けた厚生労働省は、被災都道府県以外の都道府県及び指定都市に対し照会を行い、回答をもってDHEAT応援派遣案を作成し調整を行う。

## 4. DHEAT活動実績

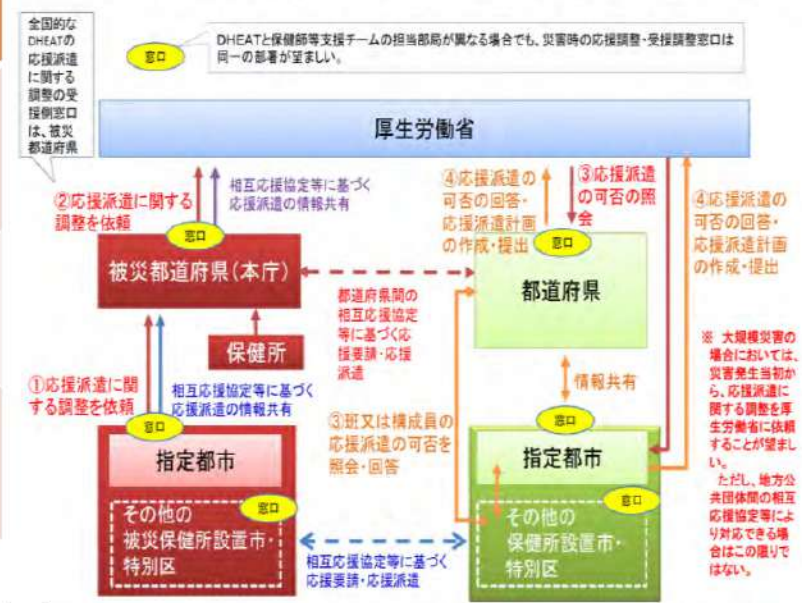
災害	派遣先	DHEAT
平成30年7月豪雨	岡山県 広島県 愛媛県	16自治体 7チーム 29班
令和元年8月大雨	佐賀県	3自治体 2チーム 4班
令和2年7月豪雨	熊本県	6自治体 4チーム 9班

(全国保健所長会健康危機管理委員会・厚生労働省・熊本県の資料より)

## 5. 被災地におけるDHEAT活動内容

- 保健医療調整本部の運営支援、被災保健所との連携支援
- 被災保健所の機能強化；保健師活動支援、市町村リエゾン業務支援
- 被災保健所本部運営支援；会議資料作成、進行管理、議事録作成
- 保健医療活動チームの統括・活動調整
- 情報の入力・整理・分析による課題抽出
- 保健活動再開に向けたロードマップ作成の支援
- 戸別訪問の準備、支援
- 職員の健康管理に関する助言、支援

(図) 災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の応援派遣に関する調整

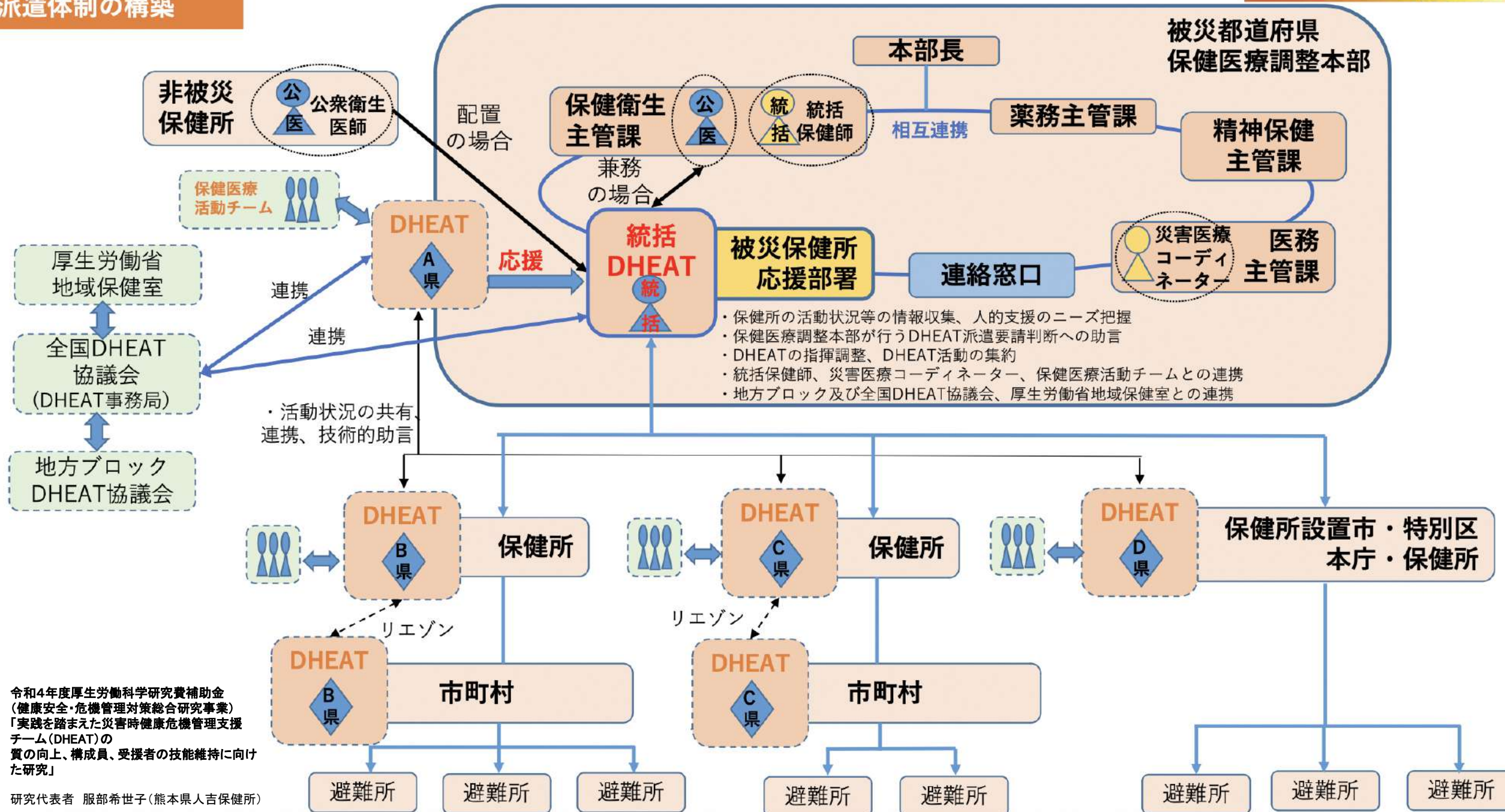


(DHEAT活動要領資料)

5 出典；令和元年・令和2年度厚生労働科学研究費補助金「実践を踏まえた災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の質の向上、構成員、受援者の技能維持に向けた研究」研究分担者；池邊淑子(大分県福祉保健部)、緒方敬子(熊本県天草保健所)

# 新たなDHEAT応援派遣体制の構築

## 統括DHEATの役割イメージ図



令和4年度厚生労働科学研究費補助金  
 (健康安全・危機管理対策総合研究事業)  
 「実践を踏まえた災害時健康危機管理支援  
 チーム(DHEAT)の  
 質の向上、構成員、受援者の技能維持に向けた研究」  
 研究代表者 服部希世子(熊本県人吉保健所)

# 世界保健機関(WHO)の本場で勤務して 気がついたこと

- 群馬県職員として  
感染症対策(手指衛生、薬剤耐性菌対策)を行いました。
- 群馬大学大学院 WHOCC(Collaborating Centre)の非常勤職員として  
患者安全対策(投薬の安全、多職種連携教育)を行いました。



10月1日WHO本部初出勤の日の写真

# Patient Safety

*Making health care safer*



## 患者安全部門作成のパンフレット

Medical errors occur right across the spectrum, and can be attributed to both system and human factors. The most common adverse safety incidents are related to surgical procedures (27%), medication errors (18.3%) and health care-associated infections (12.2%). Yet, in many places, fear around the reporting of errors is manifested within health care cultures, impeding progress and learning for improvement and error prevention.

**Reduce the level of severe, avoidable harm related to medications by 50% over 5 years, globally.**

感染症の予防と管理（IPC）部門のBenedetta先生



ジュネーブ大学教授のPitett教授  
(毎年5月5日はGlobal Hand Hygiene Campaignの日)



# Time constraint = major obstacle for hand hygiene



Handwashing: 40-60 seconds

(Average time usually adopted by health-care workers: <10 seconds)

**Alcohol-based handrubbing:  
20–30 seconds**

# リーダーシップとは (Daniel Goleman)

1. Visionary Leadership **ビジョン型**  
組織で共有された目標に向かってメンバーを動かす
2. Coaching Leadership **コーチ型**  
ひとりひとりの希望を組織のビジョンに結びつける
3. Affiliative Leadership **関係重視型**  
メンバー同士を互いに結びつけて調和を形成する
4. Democratic Leadership **民主型**  
メンバーからの提案を受け入れ、承認を得る
5. Pacesetter Leadership **ペースメーカー型**  
難易度が高くやりがいのある目標を設定する
6. Commanding Leadership **命令型**  
迅速に明確な方向性を示す

どれが良いのか？

- それぞれに長所短所がある
- 状況や目的による
- 好み(好き嫌い)ではない
- 人は6種類のうち、ひとつまたは複数のリーダーシップを発揮する

つまり、  
意識していくことが大切なのではないでしょうか。





- ・平成27年度、医療・介護連携推進のため県の組織体制として、県庁14階南フロア、医務課と介護高齢課の間に【地域包括ケア推進室】を新たに設置(4名体制)
- ・平成29年度、介護高齢課から認知症・地域支援係業務が移管
- ・令和2年度、健康福祉課の課内室に(県庁15階北フロアへ)
- ・令和3年度、保健予防課健康づくり推進室と統合され、「健康長寿社会づくり推進課」新設

## 群馬県

### 健康福祉部

健康福祉課

監査指導課

医務課

介護高齢課

感染症・がん疾病対策課

健康長寿社会づくり推進課

...

課長 一次長

健康増進係

健康寿命延伸、生活習慣病予防、  
受動喫煙予防、歯科口腔保健 等

食育推進係

食育推進、健康づくり協力店 等

医療・介護連携推進係

在宅医療・介護連携推進、ACP  
(人生会議)、訪問看護推進 等

認知症・地域支援係

認知症施策、高齢者権利擁護  
地域包括支援センター支援、  
介護予防、地域リハビリテーション  
生活支援体制整備  
地域支援事業交付金 等

特集

公衆衛生医師・  
保健所医師

ドクターインタビュー

尾川区保健センター

公衆衛生医師・保健所医師

ドクターインタビュー

主な勤務先

お問い合わせはこちら

厚生労働省健康局がん対策・  
健康増進課公衆衛生医師確保推進室  
〒100-0013  
東京都千代田区霞が関1-2-2  
中央合同庁舎第5号館

厚生労働省健康局がん対策・健康増進課  
公衆衛生医師確保推進室



03-3595-2190

お問い合わせフォームはこちら

全国保健所長会 HP



ドクターインタビュー

宇田 英典医師

矢内 真理子医師

武智 浩之医師

西垣 明子医師

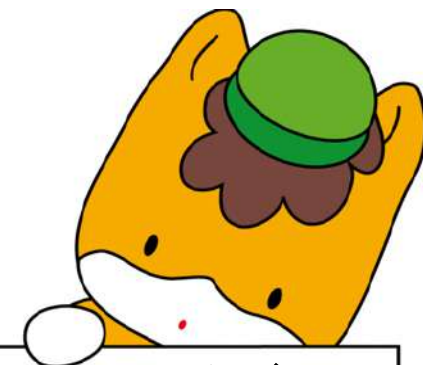


勉学、研究、講演活動など多様な場所で  
成長の機会が十分に与えられていることが  
公衆衛生医師の最大の魅力

群馬県安中保健所長 (兼)吾妻保健所長  
武智浩之医師

—公衆衛生医師の道へ進んだきっかけ

群馬大学医学部を卒業後12年間  
は、県立がんセンターをはじめと  
し、群馬県内外で泌尿器科医師と  
して働いていました。その折、直腸診  
や超音波検査、PSA採血の結果説明  
会などで地域の保健師さんや住民の  
皆さんとふれあう機会が増える中  
で、公衆衛生の世界に惹かれてい  
ったのが始まりです。大学院では前  
立腺がん検診に関する研究で学位を  
修めました。公衆衛生についてそれ  
ほど明るくはなかったのですが、当  
時勤務していた県立病院の院長が保健



こういった気づき  
を周りに伝えられ  
ると良いのでしょ  
うね。